

数と計算②

第3学年

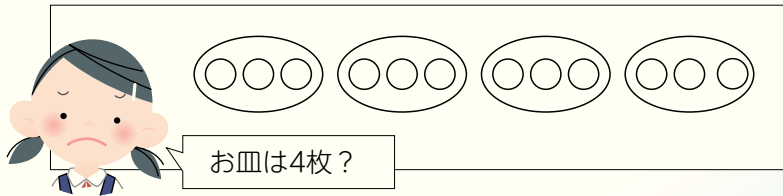
わり算の意味

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

わり算の意味を理解することや等分除と包含除の違いを理解することができない。

問題：12このクッキーを3人に分けると、1人分は何こになるでしょう。



場面を正しく理解できないため、図で表すことができない。

単元の概要

目標

わり算の意味について理解し、それをを用いることができる。

内容

※太字は次ページに詳細を掲載

- 等分除の意味の理解と除法の式の表し方
- 包含除の意味の理解と除法の式の表し方

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第6学年	分数÷分数	→ わる数が分数の場面を具体的にとらえられず、分数の除法の意味を式や図を用いて説明できない。
第5学年	小数÷小数	→ 小数の除法の意味を式や図を用いて説明できない。
第4学年	小数÷整数	→ わられる数の方がわる数より小さくなると、場面を具体的にとらえにくくなり、正しく図や式に表すことができない。
第3学年	あまりのあるわり算	→ あまりのあるわり算、あまりの意味を理解することができない。文章題におけるあまりの処理の仕方を理解することができない。
	わり算の意味	→ わり算の意味を理解することや等分除と包含除の違いを理解することができない。
第2学年	かけ算	→ 数のまとまりや「1つ分の数」と「いくつ分」の関係が理解できない。
第1学年	同じ数ずつ	→ 同じ数ずつ配るなどの場面が理解できない。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

- 半具体物や図を用いて、わり算の場面をとらえ、その意味を理解する活動
- 立式を図や自分の言葉で表現し、伝え合う活動

活動のねらい▶ • わり算の意味、等分除と包含除の違いを理解する。

ここがポイント

- 以下の活動を通して、「1あたりの数」「いくつ分」を明確にし、等分除と包含除の違いについて理解を図る。
- ①等分除、包含除の文章題を複数用意し、数図ブロックや図に表す。
 - ②なぜそのように数図ブロックを分けたのかを説明する。
 - ③図のどの部分が問題文の数や商に当たるのかを説明する。
 - ④□を用いたかけ算の式に表す。

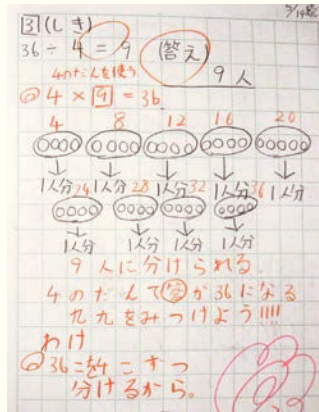
期待される児童の姿

〈等分除の意味〉

3人に1個ずつ分けていったら、1人分が4個になった。



〈包含除の意味〉



具体的な操作や図で表したり、かけ算との関係をとらえて自分の言葉で表現したりすることにより、等分除と包含除の違いが理解できる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

★主体的な学びにつながる実践

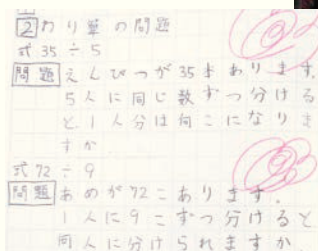
わり算の問題を作り互いに解き合い、問題を等分除、包含除に分類する活動

活動のねらい▶ • わり算の意味、等分除と包含除の違いについての理解を深める。

ここがポイント

- ①同じ式の等分除と包含除の問題を作る。
※自由に作ることができにくい児童に対しては、□に言葉をつけたせばよい問題カードを渡して作らせるようにする。
- ②グループで問題を出し合い、「1あたりを求める問題」「いくつ分を求める問題」のどちらなのかを考える。
- ③自由に問題作りをさせ、全体で集めた問題を分類する。

期待される児童の姿



こちらは同じ数ずつ分ける問題だね。

こちらはいくつ分かを聞いているね。

等分除・包含除の問題を作り、互いに解き合い、それを分類することで、等分除と包含除の意味の違いの理解を深めることができる。